

福島第一原子力発電所におけるALPS処理水希釈放出設備の
運転状況の確認結果について

県では、福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の希釈放出に際し、東京電力が実施計画通りにALPS処理水希釈放出設備の運転を行っているか確認しています。

本日、各種パラメータの数値を確認した結果、設備等に異常はなく、トリチウム濃度等にも問題はありませんでした。

確認時刻	9:14
------	------

1 放出の状況について

基準を遵守していることを確認した。

希釈後 トリチウム濃度*1	207	Bq/L	(放出基準 1,500Bq/L)
放出中タンク	C	群	
希釈倍率	744	倍	
本日の放出量	175	m ³	(最大放出量 500m ³ /日)
年間放出量(累計)	8200	m ³	
トリチウム年間 放出量(累計)*2	約1.1	兆Bq	(最大年間放出量 22兆Bq)

*1 希釈後トリチウム濃度 : 計算値 (ALPS処理水移送流量と希釈海水流量から計算した値) を記載している。

*2 トリチウム年間放出量 (累計) : ALPS処理水放出量とALPS処理水に含まれるトリチウム濃度を掛けたものを記載している。

2 測定・確認用設備の状況について

放出中のタンク群以外のタンク群水位に変化がない (漏えいしていない) ことを確認した。

タンク種別	水位 (平均値)	
A群	11,383 mm	
B群	1,532 mm	
C群	10,841 mm	(放出中)

3 移送設備の状況について

一定流量で処理水移送ポンプが稼働していることを確認した。

	A系		B系	
処理水移送ポンプ	停止		運転	
処理水移送ライン 流量計1	0	m ³ /h	19.12	m ³ /h
処理水移送ライン 流量計2	0	m ³ /h	19.00	m ³ /h

4 希釈設備の状況について

一定量で海水移送ポンプが稼働していることを確認した。

	A系		B系		C系	
海水移送ポンプ	停止		運転		運転	
海水移送ライン 流量計	0	m ³ /h	7,630	m ³ /h	7,591	m ³ /h